

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		HARVEST UNITE		公表日		令和7年2月7日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など	課題や改善すべき点	
環境・運営・体制整備	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	2	0	事前に対象児童の様子を担当と確認し、訪問に挑んでいます。	個々のお悩みや、関係先での状況を考えて準備を行っております。事前に事業所で使用して現場ですぐに活用が出来るものを準備していればと考えます。	
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	2	0	少人数で実施しているが、情報の集約は上手く出来ていません。	配置人数の検討も必要ではありますが、ご要望に対して迅速に対応ができる様に体制の検討を行って行ければと思います。	
	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	2	0	訪問後は、そこでの話を担当や事業所に落とし込んで、今後の療育にも活かしています。	訪問で得た情報を元に、事業所全体への周知と検討を行い、計画の立案に取り組んでいきます。	
業務改善	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2	0	保護者様の意見はその都度確認して、業務改善につなげています。	毎年（更新を）行っている評価と保護者様の意向確認の内容を元に、業務の改善につなげていきます。	
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2	0	訪問にあたり、担当職員から児童の様子の確認を行っています。また訪問後は、事業職員に訪問での話を伝えて、業務の改善に取り組んでいます。	今後も訪問の際は情報の共有を職員間で行い、そこで上がった他者の意見を取り入れ、業務改善へとつなげていきます。	
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	2	外部評価は行ってないが、毎年いただいたご意見を元に業務の改善に取り組んでいます。	頂いた評価結果を元に、業務改善を行いながら必要に応じて第三者による外部評価も検討していきたいと思えます。	
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	2	0	事業所はもちろん、会社全体で質の向上を図るために研修会を定期的（2か月に1回）に行っています。	今後も勉強会、研修を定期的に実施し、評価指標の作成や療育内容の発案など職員一人一人の質の向上していける様取り組んでまいります。	
適切な支援の提供	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	2	0	計画書作成前には必ずニーズの確認を行っています。またそこでの話を計画書に反映しています。	支援内容が分かりやすいように具体的な内容を記載します。提供する課題ごとの意味合いを記載します。	
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	2	0	計画書は担当者や事業所の管理者と確認して、学校や園の現状と本児の特性に合わせた内容や目標の設定を行っています。	引き続き担当支援者だけでなく事業所全体で児童の情報を把握し、児童を取り巻く状況を理解して支援の方向性や内容を検討していきます。	
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	2	0	訪問前には、担当支援者と本児の情報を確認し、訪問後には訪問先での話を組み込んで今後の療育を組み立てています。	引き続き訪問先の状況や担任の意向を盛り込んで、支援の方向を考え計画書の作成を行っていきます。	
	11	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	2	0	保育所等訪問での話を組み込んで、計画書の作成を行っています。	引き続き保育所等訪問での話を組み込んで計画書の作成を行い、情報を職員間で共有していきます。	
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	2	0	会社内で共通のツールを用いて評価を取っています。そこでの評価を元に、更に個別に合わせた状態の確認を行うことで、児童の様子やお悩みの把握に努めています。	引き続き会社内で使用するツールは、全職員で共通の理解を深めてアセスメントに反映できるようにしていきます。	
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	2	0	保護者様のお悩いと児童の現状を把握した上で、訪問先の意向を含み支援内容を設定しています。	引き続きガイドラインに沿った支援を設定していきます。	
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	2	0	訪問前後で担当だけでなく、事業所の職員に情報の共有を行っています。日々の情報共有の場を朝、昼、夕と設ける様にしています。	引き続き新開始前には必ず職員が計画を職員間で共有し、計画に沿った支援を行っていきます。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	2	0	支援開始の前後には、実施内容の確認と役割や連携を必ず伝達しています。	引き続き職員間で打ち合わせを行い、その日の支援内容や役割分担の申し送りを行い連携をして支援を行っていきます。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2	0	支援後には事業所の職員間で情報の共有を行っています。	引き続き支援後には事業所の職員間で情報の共有を行っていきます。	
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	2	0	訪問先の先生方の話をよく聞いて、理念や支援方法などの考えを組んで考える様にしています。	引き続き訪問先の先生方の話をよく聞き、理念や支援方法などの考えを組んで考える様にしています。	
18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	2	0	保育所等訪問を実施した際は、記録を必ず残しています。またその記録の内容を担当職員や事業所職員で共有を徹底しています。	保育所等訪問を実施した際は、必ず記録を残していきます。またその記録の内容を担当職員や事業所職員で共有を徹底していきます。		
19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	2	0	個々のお悩みによって介入の時期が異なりますが、療育利用の際も含めて経過を追って計画の見直しを行っています。	個々のお悩みによって介入の時期が異なりますが、療育利用の際も含めて経過を追って計画の見直しを行っていきます。		

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	2	0	訪問させていただくスタッフは、事前に事業所での児童の様子やお悩み事などの情報を理解して参加をさせていただいています。	引き続き訪問させていただくスタッフは、事前に事業所での児童の様子やお悩み事などの情報を理解して参加をさせていただきます。
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	2	0	支援者を取り巻く環境を考えて、関係機関と連携をしながらお悩みへの手立てを考えています。	引き続き支援者を取り巻く環境を考えて、関係機関と連携をしながらお悩みへの手立てを考えていきます。
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	2	0	図っている部分もございますが、全てではありません。個別ですが必要に応じて対応していく事で就学という変化点での不安解消につながると思います。	必要に応じて対応していく事で就学という変化点での不安解消につながっていきます。
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外務研修に参加させているか。	2	0	支援内容の質の向上を目的に会社内部で勉強会の実施と、外部講師を招いて専門的な方から学ぶ機会を設けています。	職員全体で支援内容の質の向上を目的に内部での勉強会の実施と外部講師を招いて専門的な方から学ぶ機会を設けていきます。
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	2	0	毎月の会議に積極的に参加をしております。	事業所だけではなく、地域で連携をして地域として支援者や事業を支えていきたいと考えます。
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	2	0	利用の際にはフィードバックの時間を毎回設けてお子様の様子やお悩みを伺う時間を設けております。	お悩みや保護者様から伺う様子を元に、お子様の状態や今後の支援の展望をお話させていただき、共有の理解を持てる様にしています。
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	0	家族支援としては個々に対応を行っています。中でも就学児童の保護者様に対しては、動画配信を行って就学に当たっての必要検討事項や不安の解消に向けて実施しています。	引き続き個別での対応を行う事と、保護者様同士が繋がれるような場も今後検討していきたいと考えております。
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	2	0	実施しております。	現在は開始前に行っておりますが、利用中の不明点が無い様に対応して参りたいと考えます。
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	2	0	利用にあたっての説明と共に、訪問支援の目的もお話させていただいております。	訪問にあたり、訪問支援の目的をお伝えし支援の概要を理解していただき実施を行う様にしています。丁寧に説明を行っています。
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	2	0	事前に保護者や子ども様にお悩みの部分の聴取を行い、意向を確認しています。	計画書には、保護者や子どもの意向を組み込んで作成を行っていく様にしています。
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	0	2	訪問を実施後に、訪問先とお話をお伝えさせていただきます。お話しした後、計画書作成時にサインをいただいております。	今後は、訪問の後のお話をさせていただく際に計画書の提示とサインをいただけるようにしていきたいと考えます。
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	2	0	療育の利用時にはフィードバックの時間を設けてお悩みや様子を聞かせていただいております。その場でお答えさせていただく事もあれば、事業所でお悩みに対しての回答を話し合ってお伝えさせていただく事もございます。	保護者様からのお話を、担当のみで抱えるのではなく事業所全体でお悩み事を共有して支援を行いお悩みの改善に取り組んでいきたいと思っております。
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	0	2	保護者同士の交流支援は行っておりません。しかし、イベントを通して保護者同士がお会いする場を設けてはおります。	保護者会に関しては色んなご意見を伺っております。必要や要望に応じて、交流の場を検討していきたいと考えます。
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	2	0	ご利用の際には保護者様よりお話を聞く時間を設けています。そこで伺った相談やお悩み内容に合わせて、迅速に対応を行っています。	引き続き、日頃から事業所（内容によっては会社）全体でお悩みの共有を行い改善に努めていきます。
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	2	0	会社での取り組みの内容や、イベントの様子などをSNS（HP、Instagram、公式LINE、Facebook）で発信しております。	引き続き様々な情報を発信すると共に、求めている情報を適切に得られるように促していきたいと思っております。
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	2	0	個人情報の取り扱いについては、会社全体でミーティングをはじめ全スタッフで気をつけて取り扱っています。	引き続き個人情報の取扱いにつきましては厳重に取り扱ってまいります。会社全体のミーティングにて個人情報の取り扱いについての理解をより一層深める取り組みも継続してまいります。
36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	2	0	保護者様のご都合に合わせて、個別対応をしています。直接お会いできない場合でも書面等を通じて、様子を伺わせていただくようにしています。	引き続き保護者様、お子様に分かりやすく情報を伝達できる方法を模索してまいります。なるべく可視化して情報を確認しやすいようにしていきます。	
訪問先施設への説明等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	2	0	訪問支援のサービスを利用する以外にも保護者様の同意を得た上で、園や学校等の関係機関とお子様の情報を共有をしたりと柔軟にご要望に対応をしています。	引き続き、受ける要望に対して柔軟に対応をしていきたいと考えます。
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	2	0	行っています。	引き続き、訪問施設と連携を取りながら支援の経過を追ってまいります。
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	2	0	実施後に保護者様と予定を合わせて訪問でのお話を行っております。	引き続き実施後に保護者様と予定を合わせてお話をさせていただきます。
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	2	0	個人情報の取り扱いについては、会社全体でミーティングをはじめ全スタッフで気をつけて取り扱っています。	引き続き個人情報の取扱いにつきましては厳重に取り扱ってまいります。会社全体のミーティングにて個人情報の取り扱いについての理解をより一層深める取り組みも継続してまいります。
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	2	0	訪問に当たっては事前に訪問先に連絡を行い、伺う趣旨の説明を行っています。訪問先の方針や考えを伺い、現状とお悩み部分の確認を行っています。	引き続き訪問先の方針や考えを伺い、現状とお悩み部分の確認を行ってまいります。

非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	2	0	会社でマニュアルがあります。また社内で運営TEAMを設立しています。その中の一つに災害TEAMがあり、災害や感染症等について訓練の計画と実施を行っています。	引き続き、社内チームで非常時の訓練等の計画と実施をしていきます。
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	2	0	社内で運営TEAMを設けており、その一つに災害チームがあり、災害や感染症について職員からの意見を取り入れ職員向けや利用者向けに計画的に研修や指導、訓練を実施しています。	作ってマニュアルの内容を全職員が把握する事を徹底します。緊急時を想定した訓練の実施と「なぜ訓練をするのか？」の部分を利用児童に学んでもらうきっかけにしています。
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	2	0	事業所内での共有は随時行い、月に1回は会社内でもヒヤリハットの共有を行っております。	発生事象の共有だけでなく、再発防止を事業所単位で話し合い、日々の療育に取り入れていきます。
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	2	0	社内で虐待防止についてのチームを作り、マニュアルの作成と共に社員研修の実施に取り組んでいます。	年間計画を立てて、計画的に研修を実施しております。
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	2	0	基本的に身体拘束は行っておりません。しかし、今後そういった事も出てくる可能性を含め、チームで検討し、マニュアルは作成しております。マニュアルを元に社内研修を実施し全員で理解に努めています。	引き続き身体拘束に関しては、全職員がやむを得ず拘束対応する場合にマニュアルに準じて行動できるように情報の共有をします。